昭和55年
4月1日号
第171号
発行所　津奈木町役場
編　集　総務課
印刷所　旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
3月1日現在

人口	6372	人
男	3043	人
女	3329	人
世帯	1705	世帯

昭和五十五年度 施政方針（要旨）

町長　六車　孝吉

一九八〇年代は交地方の時代ともいわれています。私は年頭、職員に対し、本年は足下を見つめて財政基盤の確立を計ったい。事業実施にあたっては、是非とも必要な事業に限って財政の許す範囲で推進したい。と申し述べております。又、「この機会に、自らを啓発し、研修、研さんを重ねて、それぞれの能力と個性を伸ばし、住民の期待にこたえる」態勢づくりを要請しておきました。

昭和五十四年度まで、景気浮揚策として、国、県の指針に従い積極的な財政運営を行い、町債に依存した公共事業の推進を図って参りました。このことは、財政的には或る程度の負担を残す結果となりましたが、振興計画の中で当然次年度以降に実施する事業であれば、早く利用することにより、効果先取りの利点も考えて良いかと思います。然しながら、財政健全化の大方針のもと、今後においては計画的な編成、長期的、安定的な財政の充実を図る様努力すべきであると考えております。

個性ある地域づくりについては日常の生活圏を単位とする新広域市町村圏計画によって、地域の総合的な整備を積極的に推進する事業が、当芦北地域では、水俣芦北地域開発のための計画がすでに作成されまして、水俣市、芦北二町一丸となって、この推進にあたっております。この計画の中ですでに、津奈木郎登坑車線の建設が総事業費五十億円で現在実施されています。干拓地より田浦に至る広域農道についても、本年度採択のため数回に亘り陳情を行っており、早急な決定を期待している所であります。この他、地域の連携を深めながら、一町で解決できない大きな事業、広範囲の事業の推進に合体となってあたる所存でございます。考えてみますと町内には、町独自で対応できない大きな事業が手をつけられないまま、数多く残されており、他町に比べ取り残された様な感が致しております。

その一つ一つについて、再三に亘り国、県に対し誠意をもってお願い致しました結果、国、県それぞれの担当者の信頼と御理解を得ることができ現在逐次解決をみ、着々事業実施しております。

事業は、関係住民と共に喜びにたえない所であります。津奈木川、千代川、清水川、平国川の改修、砂防ダム、県道改修、合串地区過疎基幹農道、合串漁港修築及び海岸保全事業、合串平国間の漁港関連道路、農免道路、干拓樋門改修古川海岸事業等、少額の負担又は全然町の負担なしで、災害防止や町民の福祉につながる事業が行なわれています。この様な事業実施にあたっては、当然地元関係者の協力がなくては実現致しませんので、豊かな町づくりのため今後共よろしく御協力賜ります様、お願い致したいと思います。

干拓地に建設致しました就業改善センターは、当初計画致しました以上の利用があり喜ばしい限りであります。ただ財政的な面で、周辺の美化がおくれていましたが本年度より植樹を進める様計画致しました。

運動公園は、昭和五十四年度グラウンド建設が終り、本年度より二ケ年計画で体育館を建設する様計画致していましたが、財政的な理由で当初予算計上を見合わせております。町債等の見通しがつけば、追加施行も考えたいと思っています。その他、球技場、テニスコート等の建設は順を追って進める予定であります。運動公園全体の整備につきましては、陸上自衛隊西部方面総監部、地方連絡部第八師団、第五施設団、国分駐とん隊それぞれ関係者の非常な御理解によりまして、本年度も引き続き本事業完成のため、作業隊の派遣を決定して頂きました。

年度当初来町の予定ですので、町を挙げて感謝歓迎申し上げたいと思っています。

運動公園建設と相まって男島の公園化を図り、遊歩道、ベンチ、あづまや家を設け、憩いの場として整備する計画であります。

農業振興については、引き続き農業基盤総合整備事業、草地開発事業を実施し、土地改良区による農業基盤の整備も極力推進する計画であります。

林業については申し上げますと、町有林は、飛び地、遠隔地については一部処分し、管理簡易の見直しを行ない先進地視察等を行なって、効果的な保育管理に当たる所存でございます。

尚、庭石の採取については、昨年申し上げた通り五月をもって終了致したいと思います。尚新しく林業構造改善事業については、昭和五十六年度実施を予定し、地域指定のため環準備を進める計画であります。

本町庁舎は、大正十五年頃建てられたもので、その後何回か増築を行ない現在に至っておりますが御覧の通り老朽化したため、新たに建築するための資金として基金を積み立てる事に致しました。実際の建設は数年後になるかと思いますが今回建築のための一歩をふみ出したものであります。建築場所、規模等については、今後充分町民全体の協議を経て決定する必要があろうかと思います。

旧ふう、区長会より生活改善の決議がなされ、冠婚葬祭の簡素化について提案がなされました。この問題については巾広く町民の意向をきき、時間をかけて簡素化の定着をはかる様努力致したいと思いますが、永年の風俗慣習に基づくもの或は時代感覚の変化に伴うもの、色々に複雑な要素いろいろ等をはらんでおりまして、単なる簡素化だけが唯一の最善策と言えない問題等もございますので、慎重且つ積極的に取組む所存であります。

以上、昭和五十五年度の諸政策について申し述べましたが、事の成否にはかかって町民各位の御理解と御協力にあると考えております。今後、御指導、御鞭撻を仰ぎながら、話し合いによる行政を推進して参り度いと思います。

農林水産業　三五六、二四九千円
稲作転作助成（〇アール当り約四千円を支給する。
果樹は、甘夏みかん将来の見通しについて適確な判断を行ない、優良品種導入、更新について援助を計上。
畜産では草地開発事業（六四七、二千円）で経営の安定をはかる。
発酵基肥は、生産、需要も順調に行なわれており今後も続けて推進したい。
農村基盤総合整備事業では、白ケ浦、白浜の排水施設整備、金比羅農道建設等六四、四二二千円で行なう。
農業就業改善センター、周辺の美化をはかる。
農村工業導入対策、男島公園の建設（五二〇〇千円）を行なう。

林業　町有林の優良な財源としたい。庭石搬出は本年五月で中止する。
林道、矢城林道開設（二八、六五〇千円）を行なう。

水産業　漁礁設置（六、〇〇〇千円）くるまえび放流等、資源増殖をはかる。

漁港　合津漁港修築（県営）合串、福浜漁港保全、福浜漁港波戸内渡瀬、大迫漁港浮桟橋、合串平国間の関連道路等、一〇五、九七〇千円で実施する。

商工業　商工会設立の準備が進められており、全面的な援助を行ない。

土木費　一六六、一七〇千円（対前年比二六％増）

消防　五四、一五七千円　ポンプ格納車建設に助成を決定。

教育　小中学校の本館は、全部鉄筋コンクリート化が完了したので、今後体育館等の整備を逐次行ないたい。
本年度は学国小体育館散地造成と、その排土行なう赤小運動場埋立工事（二八、五〇〇千円）を計画した。社会教育、社会体育の振興については、着々成果を上げているが、今後地道な指導によって地域文化の向上、町民皆スポーツの振興を図りたい。

災害復旧　三五、二〇五千円
諸支出金　一二、五〇四千円
予備費　一、〇〇〇千円

特別会計
国民健康保険　二九、六八〇千円
簡易水道事業　二八、五四〇千円
農業共済事業　二九、二四六千円

予算

予算総額十三億八千八百万円

歳入では、町税は昨年比べ、一五、八五〇千円（十五％増）増加し、一二、三六八千円となったが総額に占める比率は、八・七四％、地方交付税は、五八五、〇〇〇千円で、四二・一五％、国県支出金等を合わせた依存財源は、八一・四％になり、町財政の貧弱さがうかがえる。

歳出
消費的経費　七億三千百萬円
投資的経費　四億八千八百萬円
公債費外　一億六千九百萬円
で、投資的経費は三五・一五％となっている。
内容で主なものは、道路関係（継続事業）内野線改良、八迫線改良、矢城林道開設、（新規事業）内野線舗装、北浦線改良（川内）辻線舗装（赤崎）新川中尾線改舗装、日添線改良、平国字土線舗装、金比羅農道外整備分外、県営で行なう、県道改修、合串地区過疎基幹農道、合串平国間関連道、県道局部改良が計画されている。
民生費　一七六、二一六千円（対前年比五・四％増）
保健衛生　三二、六二六千円
保健婦を採用し、寝たきり老人、存在患者等の健康相談、各種検診、予防接種等の推進をはかり、町民の健康を積極的に推進する。
栄養教室には、もっと多くの主婦の参加を期待し、食生活の改善を推進する。
ごみ処理の無料化、分類や決められた集収日に、決められた場所に出し、町内美化を図る。
水源調査を行ない、全町簡易水道設置の早期完成をはかる。
農業　一七六、二一六千円（対前年比二六％増）
消防　五四、一五七千円　ポンプ格納車建設に助成を決定。
教育　小中学校の本館は、全部鉄筋コンクリート化が完了したので、今後体育館等の整備を逐次行ないたい。
本年度は学国小体育館散地造成と、その排土行なう赤小運動場埋立工事（二八、五〇〇千円）を計画した。社会教育、社会体育の振興については、着々成果を上げているが、今後地道な指導によって地域文化の向上、町民皆スポーツの振興を図りたい。
災害復旧　三五、二〇五千円
諸支出金　一二、五〇四千円
予備費　一、〇〇〇千円

特別会計
国民健康保険　二九、六八〇千円
簡易水道事業　二八、五四〇千円
農業共済事業　二九、二四六千円

新築なった津奈木保育園（全景と保育室）

老人会表彰される
美しい熊本づくり

去る、二月二十五日熊本郵便貯金会館で行なわれた、第六回美しい熊本づくり推進県民大会において、津奈木町老人会が表彰を受け永松登弥会長が代表として受能きました。

老人会は美しい熊本づくり運動が展開されるやいち早く環境美化にのり出し、ムクゲ、カンナ等の苗を養成し道路わきに植付たり各戸に配布する等し父五十二年には王拓の雑草を刈り荒地を開き桜を約三〇〇本植付、年こは数回追肥や下刈等を行ない美化活動を行なっているとして県より表彰を受けました。老人会の丹精こめてそだてられた王拓桜がやがて津奈木の名所となることでしょう。

入学(園)式

津奈木幼稚園	四月	十日
津奈木小学校	四月	八日
赤崎小学校	四月	八日
平国小学校	四月	八日
津奈木中学校	四月	九日
津奈木保育園	四月	七日
津南保育園	四月	五日

社会体育

昭和55年度4月 社会体育関係行事予定

○ソフトボール協会主催
各クラブ対抗駅伝大会
期日　四月六日（日）
場所　干拓周回コース
※本大会はソフトボール協会に登録しているクラブチームの大会です。

○バレーボール部主催
第二回津奈木町男子バレーボール大会
期　日　四月二三日～二六日
場　所　小学校・中学校体育館
参加資格　町内に住所を有する一般男子。勤労学生も出場可。
参加料　一、〇〇〇円
※尚、本大会は部落対抗とする。多数の御参加をお待ちします。

奨学生募集

津奈木町奨学金貸付条例により昭和五十五年度の奨学生を募集します。

高校又は大学等に修学する人で成績が優秀で且つ経済的理由によって修学が困難である人に貸付られます。

高校月額　七〇〇〇円
大学月額　二〇〇〇〇円

です。希望されるかたは、四月中に、教育委員会事務局に申出て手続きをとってください。

告知板

春の交通安全運動

この運動は皆さん方に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣つけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行なわれます。

運動の重点
一、歩行者、特に新入学（園）児を中心とした子供の交通事故防止。
二、自転車の安全利用の促進。
三、安全運転管理の充実と安全運転の確保。

となっています。特に第一番目の新入学（園）児には期間中一件の事故もないよう注意して下さい。

事故を起さないために

一、車を運転する方は、常に「ゆとり」と「ゆずり合い」の精神をもって、正しい交通ルールに従って車を運転することが、道路交通の秩序を維持し、ひいては交通事故の防止につながるので、マナーの向上に努めて下さい。

二、家庭には、運転者、歩行者、自転車利用者等、いろんな立場の人がおり、場合によっては、交通事故の被害者あるいは加害者ともなりかねない状態にあるといえます。

そこで母親が中心となり、「交通安全は家庭から」をテーマに家庭で交通安全について話し合い、無謀運転といわれる飲酒運転・過労運転・無免許運転・無車検・無保険車等の追放に努めましょう。

＊　＊　＊　＊

相談料は無料で、御相談の際は、交通事故証明書或は医師の診断書等参考になる資料があれば御持参下さい。

記
一、期日　毎月第三金曜日
二、時間　午前十時三十分から午後四時まで
三、場所　県芦北事務所　福祉課

交通事故巡回相談

今まで三ケ月に一回しか行なわれていなかった交通事故巡回相談が、昭和五十五年度から毎月一回行なわれるようになりました。期日は左記のとおりです。

狂犬病予防注射実施

昭和55年度　畜犬登録ならびに前期狂犬病予防注射実施について、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

記
1.　日時及び場所
昭和55年4月14日
上下門公民館9時～10時
中尾諏訪宮前10時30分～11時30分
役場13時～14時
昭和55年4月15日
大泊漁協前9時～10時
新川西川裕宅横10時30分～11時30分
小津奈木寺床商店横13時～14時
昭和55年4月16日
福浦公民館9時～9時30分
合串森商店横9時40分～10時
平国長浜一郎商店横10時30分～11時30分
赤崎吉野一商店前13時～14時
2.　料　金
一頭　登録料2,000円
済票代　300円
注射料　800円
計　3,100円

郵便局からのお知らせ

身体障害者福祉強調運動にちなむ郵便葉書の発行について

郵政省では、身体障害者福祉強調運動に協力して、特別な意匠の二十円郵便葉書（青い鳥葉書）を五十五年四月二十一日から発行されます。

＝青い鳥葉書の配布について＝
四月二十一日に発行される身体障害者福祉強調運動にちなむ郵便葉書（青い鳥葉書）について重度の身体障害者で申し出られた方に差しげます。

（一）配布対象
重度の身体障害者（一級及び二級）

（二）申し出の方法
この葉書の配布を希望される方は、住所、又は居住の近くの郵便局に身体障害者手帳を提示し、所定の用紙に必要事項を記入して申し出てください。（代人による申し出ができます）
用紙は、郵便局の窓口に配備してあります。
なお、郵便によって申し出ることもできます。（この場合は、ご本人の手帳番号、級別、住所、又は居所、氏名及び生年月日を記入し押印の上、申し出てください）
現在満六歳以上に限ります。

（三）申し出の期間
昭和五十五年四月一日から五月三十一日まで

（四）配布枚数
申出のあった重度の身体障害者の方一人につき二十枚。

税務署

確定申告が間違ついたときは

昭和五十四年分所得税の確定申告の期限内の受付は、三月十五日で終了しました。後で、計算違いなどのために、申告した内容に間違いがあることに気付いた人は、それを訂正することができます。

例えば、社会保険料控除や扶養控除などを書き忘れたために、税金を実際より多く払った場合は、「更正の請求」や税金の還付受けられます。「更正の請求」ができるのは、来年の三月十五日までです。

また、所得を実際より少なく申告していたような場合は、「修正申告」により正しい金額に訂正する必要があります。

なお、うっかりして申告を忘れている人は、すぐに確定申告をする必要があります。

これらの用紙は、税務署に用意してあります。手続など詳しいことは最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

防犯

春は家出のシーズン あなたの子供さんは

春は進学就職など環境の変化から少年の家出が増加する時期です。

家出は欲望などの非行につながる非行性の高いものです。

また家出したような少年、不審な少年を見かけたら、人の子も我が子と思い注意するとともに、警察に届出て下さるようお願いします。

水俣警察署

ご寄付お礼

大時計
平国小学校校新築落成を記念して平国下　長浜ニキノ殿から御寄附をいただきました。あつく御礼申し上げます。

社会福祉に役だてて

一月二十三日午后一時三十分頃千代国道三号線添いで、ボヤがありました。これを発見一九番へ通報された、八代税務署勤務北岡哲夫様へ、町長より感謝状を贈りました。この厚意に対し、津奈木町社会福祉に役だてて下さいと、金一封ご寄付されました。町民福祉の為に、有効に利用致します。心より感謝申し上げます。

国民年金

国民年金の保険料は忘れずに

去年の四月から今年の三月分までの国民年金の保険料は、もう納めましたか。また、納めていない方は早目に納めましょう。

保険料納め忘れますと、万一事故があったとき障害年金や母子年金、将来の老齢年金さえ受けることができなくなります。

もし、今年三月以前の保険料に納め忘れがあれば、二年前までの分なら、あなたの住所を管轄する社会保険事務所に納めて下さい。

また、国民年金の保険料は、一年分を前納できます。今年から、あなたもこれを利用しませんか。

ちょうどよ、二月ごとに納める手数もはぶけて、納め忘れもなくなります。納付箱も分納なら年に四万五、二四〇円ですが、前納なら四万四四、一五〇円に割引かれます。いずれの場合も、役場国民年金係に御相談を。

国民年金の特例納付

いま、実施されている国民年金の特例納付の締切りが六月末日に迫りました。

この制度は、国民年金に加入しなければならないのに、一時の思い違いや、忙しさにまぎれたり、経済上の理由などから、国民年金にまだ加入していないか、保険料を滞納して年金権を失っている人などについて、未納期間分を払い込めば年金権が与えられるもので今回が最後のチャンスです。

保険料は、未納期間一カ月について四千円の割で払い込めばよく分納もできます。

なお、明治四十四年四月一日以前に生まれた人や、サラリーマンの奥さんなど任意加入の人は、この特例納付はできません。

くわしいことは、役場国民年金係へおたずね下さい。

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
福浦	福田一	武作
竹中	山崎藤年	己久馬

右の方から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封ご寄付ありました。この寄付金は町民福祉のため、有効に利用させていただきます。謹んでお礼申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

訂正おわび

三月一日付発行の町報つなぎのご芳志お礼の中で
『世帯主　故人
高木　武男　ジモ』と書いておりましたが、世帯主名が誤っておりましたので、左記の通り訂正深くおわび致します。

部落	世帯主	故人
日添	高木	国男　ジモ

樹木の御寄贈

日当部落の、森本東一さんより桜の苗木四十本を、内野部落の山路茂さんより、サザン花の苗木五本を御寄贈下さいました。早速舞鶴城公園に植付け、公園美化につとめております。

中尾部落の、川野広美さんは、就業改善センターにも、やまもも木を御寄贈下さいました。センター正面のロータリに植込み周辺美化をはかりたいと思います。

舞鶴城公園、改善センター周辺運動公園等、植樹場所はたくさんあります。結婚記念や誕生記念等思い出の植樹を是非お願い致します（御連絡は役場企画課へ）

ちゃわん市

国鉄で五月三三日、有田陶器市の団体募集を行っています。

朝六時十三分頃、津奈木駅発の臨時列車で有田市まで、陶器市を約五時間物し、夜十一時頃帰着致します。経費は、六一〇〇円ですので、多数御参加ください。

申込は、水俣駅旅行センター（〇九六六六一三〇〇三三）定員に達したら申込を締切りますので早目に御連絡ください。

安全は　家庭の中から　しつけから

安全の　手本になろう　キミとボク

（注）紙面の都合で、地中海沿岸五ケ国の農業政策を主とした研修の報告や、一部を割愛し、予算説明は要略しました。